

講演会・映画鑑賞会のお知らせ

日時：平成21年2月28日(土) 10:00～16:40

場所：神奈川学習センター 第8・9講義室

講演会

10:00～12:00

演題：隣の文化とつきあうこと

—歴史を通して見た韓国との交流—

講師：吉田光男 教授



私は小学生のころから韓国が大好きで、いつの間にか専門的な研究者になってしまいました。歴史以外にも韓国のあらゆることに興味をもち、生きた韓国文化事典となるべく精進しています。学生時代からの韓国渡航歴は30年を超え、現在でも1年間に4～5回ほど(多いときは10回)のペースで韓国に出かけ、資料調査のかたわら、現代韓国の息吹を体で感じるようにしています。

この講演会では、日本にもっとも身近な外国である韓国と日本の関係について、私の専門である近世の交流を主題としてお話します。中心的なテーマは、通信使という朝鮮国王から徳川将軍に派遣された外交使節ですが、この間、調査過程で経験してきた異文化としての韓国文化についてもふれ、韓国の歴史・文化・社会を知ることの面白さ楽しさをお伝えして、皆様の知的好奇心を満足させるようなお話をしようと思います。

講師プロフィール

吉田光男(よしだ みつお) 1946年愛知県生まれ 韓国近世史専攻

◆学歴 1976年 東京大学文学部東洋史専修課程修了
1982年 東京大学大学院人文学研究科博士課程単位修得退学

◆職歴 東京外国語大学外国語学部朝鮮語学科助教授を経て
東京大学大学院人文社会系研究科韓国朝鮮文化研究専攻教授
2008年4月より放送大学教養学部教授(人間の探究専攻)

◆主な社会活動 日本学術会議連携会員、朝鮮史研究会会長、東方学会評議員、史学会評議員、朝鮮学会常任幹事、韓国朝鮮文化研究会運営委員(前会長)、第一次日韓歴史共同研究委員会中近世史部会主幹、日韓歴史家会議運営委員

◆主な著書 『ソウル近世都市社会研究—漢城の街と住民』(草風館, 2009年)
『日韓中の交流』(編著, 山川出版社, 2004年)
『韓国朝鮮の歴史と社会』(編著, 放送大学教育振興会, 2004年)

◆主な訳書 朴漢濟『中国歴史地図』(平凡社, 2009年)
韓国教員大学歴史教育学科編『韓国歴史地図』(平凡社, 2007年)
韓永愚『韓国社会の歴史』(明石書店, 2003年)

映画鑑賞会

『真珠の耳飾りの少女』

オランダの天才画家フェルメールの一枚の名画に秘められた至高の愛の物語。
2003年、イギリス、ピーター・ウェバー監督

■講演■ 13:00～14:00

演題：(仮題) プラン活動について

—子どもとともに進める地域開発—

講師：大橋三小峰氏

財団法人日本フォスター・プラン協会
(プラン・ジャパン)
プログラム部プラン特別プロジェクト担当

■映画■ 14:10～16:40

解説：映画の中にみる

ヨーロッパの芸術

講師：西浦久晏氏

横浜映画研究会会員
放送大学第2期生

●あらすじ

1665年、オランダ。天才画家フェルメールの家に使用人としてやってきた少女グリート。下働きに追われる中、色彩における天賦の才をフェルメールに見出されたグリートは、やがて弟子となりモデルとなり、画家に創造力を与えるようになる。主人と使用人としての距離を保ちつつも、次第にお互いが本能で理解しあえる運命の相手だと気づく二人。許されぬ恋。触れ合うこともできぬまま、押しとどめていた想いは、しかし画家とモデルとして向き合うことでやがて、押さえきれぬものとなっていく。だが、そんな二人を嫉妬に身を焦がす画家の妻、好色で狡猾なパトロンが許すはずもなく、少女はその想いを犠牲に、敬愛する画家と芸術のためにその身を危険にさらしていく…。



入場無料 事前申し込み不要 (直接会場にお越し下さい)

主催：フェスタ・ヨコハマ実行委員会／放送大学神奈川同窓会 (共催)

後援：放送大学神奈川学習センター

お問い合わせは、045-491-9111 (木下) まで